

【信州・新風・みらい】あなたの声をお聴かせください!

県政対話集会

●日時:1月23日(月)
受付/午後5:30~
対話集会/午後6:00~午後7:45

●会場:小諸市ステラホール

事前申込不要
お気軽に
ご参加ください

皆さんからご質問やご提案を頂戴し、
会派所属議員15名が要望をお聴きします。

浅間の旋風

元気!やる気!!よしあき!!!

発行責任者:山岸喜昭

〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320

http://asama-kaze.com E-mail voice@asama-kaze.com



小諸市民・阿部知事と語る会

11月4日、小諸市民となって早3年が経つ阿部知事を迎えて開催されました。創業しやすい環境づくりや、農業、観光、環境エネルギー、教育など、幅広い分野にわたって長野県の取り組みについて講演いただきました。



中部横断自動車道建設促進 佐久地域議員連盟設立総会

12月16日、小諸・佐久地区の県議を發起人とし、小諸・佐久・南佐久地区の市町村議員による佐久地域議員連盟の設立総会を開催しました。佐久南I.Cから八千穂I.C間は、来年度の開通を目指し工事が進む中部横断自動車道。長坂~八千穂間について、1日も早い事業化、早期の全線開通のために、事業促進活動を推し進めます。



農業問題懇談会

12月12日、毎年開催されている佐久地域長野県農業経営者協会・農業士協会による、佐久地区選出の県会議員との農業問題懇談会が開かれました。肥料・農薬・トラクターなどの価格が高い、規模拡大への補助金、農業を目指す若者への奨学金、農地中間管理機構など、活発な意見が出され、内容のある会となりました。



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成29年の清々しい新春を迎え、志も新たに夢と希望をそれぞれに描かれスタートされた事とお喜び申し上げます。

日頃の御支援と御指導を賜ります事に心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返り長野県におきましては、6月には天皇皇后陛下をお迎えし全国植樹祭が長野で開催され、8月には国民の休日「山の日に」が制定され、皇太子ご夫妻を高地にお迎えしての開催、また、9月にはG7世界交通省公合が軽井沢で開催されました。8月にはリオ五輪が開催され日本選手の活躍、長野県選手の活躍が未だ記憶に新しいところであり、国を挙げての大きなイベントが長野県で開催され、世界にNAGANO、全国に信州の名を大きく知らしめた年でもありました。小諸市におきましては、小泉新市長の誕生、商工会議所は掛川新会頭へ、観光関係につきましては、国で進める観光による地方創生DMO施策としていち早く取り込み、「こもろ

観光局」の設立と、大きな変革の年でありました。

いよいよ今年は、新しい街づくりのスタートの時と捉えているところであります。

一昨年は、市庁舎、図書館、市民交流センターの落成、今年には厚生病院の再構築が進み大規模な事業が整いつつあります。

私たちの故郷小諸は、次世代に向けて新しい歴史を歩み始めます。私も、今までに増して小諸の魅力を高め、市民の皆さんとしっかりと連携の中で「伸び行く小諸」そして「発展する輝く小諸」の実現を目指し、年頭に当たり気持ちも新たに強く決意いたしましたところでございます。

皆様方におかれましては、今年も明るく健やかに、益々の御活躍と御健勝を心から御祈念申し上げます。といたします。

どうぞ、本年もよろしくお願ひ申し上げます。



長野県の「発展」と小諸のさらなる「飛躍」を目指して!



11月定例会 一般質問 議会報告

【東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致について】

【山岸】スポーツ観光や東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致の取り組みと、その役割分担等の状況は?

【観光部長】本年8月、「長野県スポーツコミッション」を設立し、視察受け入れ等を始めている。必要な競技・トレーニング施設は、市町村自らの用意を基本とするが、受け入れの際には市町村が県観光機構や地元観光連盟と、宿泊先の確保や交通手段等を役割分担しながらの受け入れになります。同コミッションは、近隣市町村との連携により広域的な体制もあり得ると考えています。

【活火山の防災と観光について】

【山岸】浅間山の防災体制は他の火山にはない充実したものであるが、噴火警戒レベルの情報を迅速に地元へ伝達し、自治体が登山道の規制ができるようになってくるのか?

【危機管理部長】噴火警戒レベルの引き上げ情報は、気象庁発表に合わせ県に通知し、県が関係市町村に伝達します。市町村では、事前に定められた登山道規制箇所、ロープ看板等により立入規制を実施することになっていきます。既に入山されている方には、防災行政無線、スピーカー放送、携帯電話の速報メールの配信等、複数手段で伝達し、速やかな退却を促す対策が取られています。

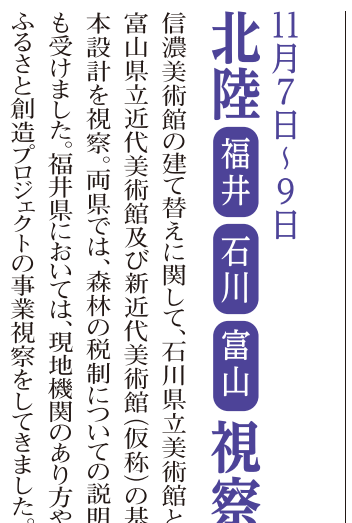
【山岸】中規模噴火による浅間山融雪泥流対策の進捗状況は?

【建設部長】平成23年度に国と近隣県等を連携し策定した「火山噴火緊急減災対策防砂計画」は、平成24年度に国において直轄火山防砂事業として着手。基幹的施設の1基目を蛇堀川にて工事発注の手續き中。緊急対応用として、コンクリートブロック1万6千個を小諸、佐久両市の備蓄ヤードに整備済み。工事用道路は拡幅や待避所設置を行っています。

【山岸】火山の多い長野県は観光と防災の両立が不可欠。浅間山を取り巻く近隣市町村と連携し、ジオパークへの取り組みが方策のひとつとして期待できるが、知事のお考えは?

【阿部知事】火山との共生が必要であり、且つ観光大県を目指す長野県は、その両立が不可欠。ジオパークは、火山災害や防災も学べる観光地づくりとして有効な策のひとつと考えています。本県には南アルプスと苗場山麓にあります。今後はジオパーク認定に向けた取り組みを支援していきたい。

※詳細は、県議会ホームページをご覧ください。



高齢者の地方移住

11月7日~9日

信濃美術館の建て替えに関して、石川県立美術館と富山県立近代美術館及び新近代美術館(仮称)の基本設計を視察。両県では、森林の税制についての説明も受けました。福井県においては、現地機関のあり方やふるさと創造プロジェクトの事業視察をしてきました。

定年後にふるさとへUターン移住を希望する人や、都市出身者で老後を地方で暮らしたい人は少なくない。長野県は、土地、中古住宅、マンション等の取得ニーズに応える施策をしています。

Vol.6 人口減少と少子化問題について

若者の流出をくい止めるUターン、イターンによる若者定住策

平成26年の政府調査では、東京都の20~30代の地方移住意向は46.7%。そのニーズを捉えることが大切である。

- 大都市の若者へ地域の職場、暮らしやすさや地域に根ざした生き方等を、ネット等によりアピールする。
- 移住希望者への就労住宅・子育て支援の整備と相談窓口の一本化を図る。





吉川彰一(財務委員長)
花岡賢一(副広報企画委員長)
石和 大(幹事長)
今井愛郎(副広報企画委員長)
下沢順一郎(相談役)
堀場秀孝(副政務調査会長)
高橋 宏(顧問)
小林東一郎(政務調査会長)
小島康晴(代表)
荒井武志(広報企画委員長)
竹内久幸(相談役)
埋橋茂人(副政策審議会長)
山岸喜昭(副代表)
寺沢功希(副政務調査会長)
依田明善(幹事長代理、政策審議会長)
()内は会派役職

代表年頭ご挨拶 代表 小島康晴

昨年は、アメリカの大統領選挙をはじめ国際的にも大きく揺れ動いた年でした。国内でも熊本の地震や相次ぐ台風などの災害もあり、政治・経済的にも不安定な一年でした。

県内では、全国植樹祭や山の日記念大会など明るい話題もありましたが、経済対策の効果がなかなか地方に及ばず、県民生活の向上や人口減少に歯止めをかける取組の重要性を改めて痛感しました。

新年度には10の地方事務所に変えて「地域振興局」が発足します。身近な課題は身近な組織で解決するとい

うことを本旨に、有効に機能するよう注視してまいります。

新たな総合5か年計画策定の論議も本格化します。県政課題は山積しています。私たちが会派は「県政改革の理念を共有し、県政に常に新しい風を送り未来の信州を創っていく」という基本理念のもと、県民にわかりやすく、簡素で効果的な県政運営のため、情報公開をいっそう推進し、県民が参画しやすい県政を目指してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願いたします。

10月17日、中野市中央公民館で、「信州・新風・みらい」による本年度第1回目の「県政対話集会」を開催、約130人にご参加いただき、県政の様々な分野にわたるご意見をいただきました。それらのご意見には、会派所属の出席議員14人からその場でお答えするとともに、一般質問等にも反映をさせています。 また、お招きした池田中野市長、高田北信地方事務所長、荻野北信建設事務所長には最後まで参加いただき、熱心に議論をお聞きいただきました。 県民の皆様から直接ご意見をいただけることは議員にとって県政を考える上で基本とすべきことであり、参加された皆様

からも「良い企画だった」「これからのような機会を設けて欲しい」との感想を多数いただきました。それらの声に応えられるよう、今後、会派一丸となって取り組んでまいります。



12月8日の第7回委員会では、議員定数について各会派が報告し合い、自民党県議団が「1名減」、我が会派は人口減少を主張、共産党は「現状維持」、新ながの・公明は具体的数値を示しました。

2月8日の次回会議では、それぞれの考えに沿

進めよう議会改革

選挙区等調査特別委員会は、11月18日に第5回委員会を開催、平成27年国勢調査結果確定値の報告等が行われました。

12月2日の第6回委員会では、1票の格差について集中的に議論を行い、委員長が「概ね2倍程度を目指す」ことを提案、全会一致で了承。

11月定例県議会 42億円余の補正予算案、地域振興局の設置条例案、などを可決

11月定例県議会は、11月24日から12月9日までの16日間の会期で開催されました。

製造業や農林業の競争力強化、子育て・教育環境の充実・文化芸術の振興等に要する経費を盛り込んだ42億8806万6千円の一般会計補正予算案、地域振興局の設置に関する条例案、県税事務所の設置に関する条例案、平成27年度一般会計等の決算の認定等の知事提出議案、選挙管理委員・補充員の選出、上海への議員派遣、我が会派「信州・新風・みらい」提出の子どもの貧困対策の更なる推進を求める意見書案などが可決・承認されました。

補正予算のポイント

- 次世代産業の技術支援強化 5600万円
 - 評価試験機器を工業技術総合センターに整備
- 農業関係試験場の研究開発等への施設整備
 - 高品質・高強度製品の開発等への施設整備
- 信濃美術館の改築・修復 3537万円
 - 信濃美術館本館等の全面改築等の基本設計ほか
- 直轄事業負担金 23億7014万円
 - 国が行う道路、河川等の直轄事業負担金の追加
- 信濃美術館の改築・修復 3537万円
 - 技術開発の高度化等
- 100年カラマツ活用への試験研究施設整備 3億833万円
 - 高品質・高強度製品の開発等への施設整備

信州・新風・みらい 県政対話集会 in こもろ

日時：2017年1月23日(月) 午後6時～
会場：小諸市市民交流センター「ステラホール」
入場無料
どなたさまもお気軽にご来場ください。

2月定例会日程

2月16日から開催予定

2月16日	開会
22日	代表質問
23日	委員会審議
24日	委員会議決
24日	役員選任
25日	閉会

地域振興局の設置

本年4月から、県内10か所の地方事務所が衣替えし、知事・副知事に直結する組織「地域振興局」が発足します。

局内には、地域の横断的な課題への対応や政策づくり、現地機関の相互の調整を担う企画振興課が新たに設置されます。

新たに、10所合わせて1億円程度の「地域振興費(仮称)」が創設され、地域振興局長が地域連携の中で主体的に活用していただけるようになります。

こうしたシミュレーションを基に議論していくことになりました。